

中学受験事業部長 福田 渉に聞く

# 私立中学入試の現状と 誉田進学塾 sirius の強み



## Q. 県内の入試状況は？

A. 千葉の中学入試は一部の上位校に人気集中する状況になっており、最難関は渋谷幕張です。四大模試（四谷大塚・日能研・首都圏模試センター・SAPIX）の追跡調査をもとにした入試結果の偏差値をみると、渋谷幕張を上回る学校は首都圏全体で見ても開成・筑波大附属駒場・桜蔭くらいしかありません。全国屈指の大学進学実績が評価されて県内のみならず東京や神奈川からも入学者が増えており、首都圏の超難関校としてすっかり定着しました。それに次ぐ難関校が、市川・東邦大東邦・昭和学院秀英で、この3校も都内の早慶附属中にせまる難易度です。

高校受験でこの上位4校に合格できるのは県内の全中学生のうち上位5%程度にすぎません。公立トップの千葉高に進学する受験生でも市川高不合格が目立つという状況を見ると、この上位4校に合格するのは非常に大変なことですし、もし進学できたとすれば、すばらしい成果をあげた受験といつてよいでしょう。

## Q. 難関中学を目指すには？

A. 中学受験には、高校受験や大学受験とは大きく異なる点があります。それは、学校教育の修得だけでは挑戦できないという点です。高校受験は、一部の難関私立高校受験は異なるものの、少なくとも公立高校入試は公立中学校で習ったことしか出題されません。また、大学受験も、高校によって学習難度にかなり差がありますが、少なくとも難関高校の授業は難関大学受験につながります。その点、中学受験は、小学校で学んだことで難関中学受験に臨むのはまったく不可能なことです。難関中学を目指すには、受験のための特別な学習をする必要があり、そのノウハウを持っている学習環境を準備する必要があります。

現状、ノウハウを持っている塾は限られています。開成中学の合格実績を見てみると、SAPIX 251名、四谷大塚 91名、早稲田アカデミー 87名、日能研 56名となっており、大手4塾で合格者のほとんどを占めています（※）。千葉県最大手の市進学院も多い年は40名を超える開成合格者を出しましたが、今春は8名にまで落ち込んでしまいました。1強状態のSAPIXを四谷大塚・早稲田アカデミー・日能研が追うという構図は今後も続くでしょう。※早稲田アカデミーは四谷大塚グループ。実績の約半数は四谷大塚との重複。

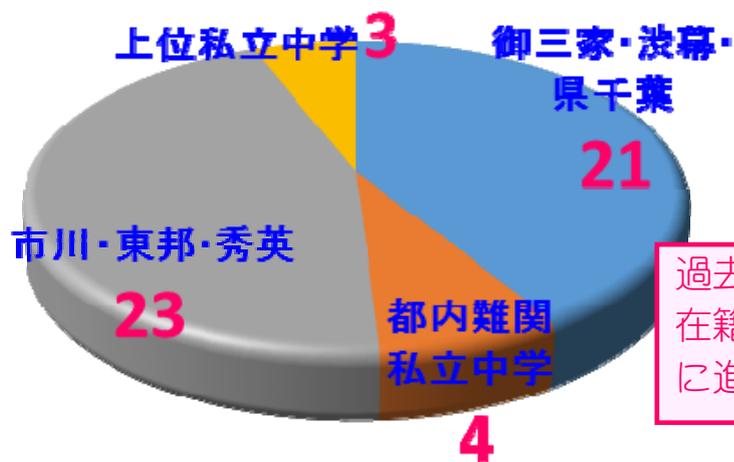
## Q. 誉田進学塾 **sirius** の強みは？

A. 難関中学への高い合格実績と、安定した進学実績が **sirius** の最大の特徴です。前述の通り、合格実績では SAPIX の強さが目立ちますが、実は **sirius** はさらに高い実績をあげています。都内の男女御三家 6 校に県内最難関の渋幕幕張を加えた 7 校の合格実績を見てみると、SAPIX が在籍生 5209 名に対して 7 校合格者計 1188 名で 23%であるのに対し、**sirius** は在籍生 17 名に対して 7 校合格者計 6 名で 35%でした（右表参照）。

	SAPIX	誉田進学塾 <b>sirius</b>
2016 年	23%	35%
2015 年	26%	32%
2014 年	24%	31%

そして、**sirius** の最大の強みは安定した進学実績です。今春も開成中 2 名をはじめとして卒業生全員が難関中学への進学を果たしました。首都圏で中学入試に臨んだ受験生のうち 15%~20%は進学先を得ることができず地元の公立中学に進学していると言われる厳しい状況にあって、**sirius** では過去 3 年、51 名の卒業生全員が難関私立中学へ進学しています（下記グラフ参照）。

一部の上位生に指導を集中して実績を誇示するのではなく、すべての塾生を責任もって指導し志望校進学に導くのが誉田進学塾 **sirius** の最大の特徴です。



過去 3 年間、誉田進学塾 **sirius** に在籍した 51 名全員が中高一貫校に進学しています。